

(6) 食肉の入荷と価格の見通し

仙台市中央卸売市場 食肉市場

(電話) 258-3131

【牛肉の概要】

農畜産業振興機構によれば、全国の国産牛の出荷頭数は前年実績を下回ると見込んでおり、各品目では10月に和牛が前年を上回ったものの、11月以降は全品目とも前年を下回ると予測されています。当市場では年末に向け共進会の開催も多く、集荷に努めていますが、入荷は和牛が中心となるため、交雑牛、乳牛はやや減少するものと思われます。

相場については、今秋の消費税増税や悪天候の影響もあり、末端需要が非常に鈍く、余剰在庫が増えているため全体的に弱基調で推移しています。一方、交雑牛については和牛の代替えや低価格志向を受け、量販店での需要があり、引き合いが強く高値での販売となっています。

(当市場では、輸入牛肉は取り扱っていません。)

【品目別】

和牛	荷動きの鈍さが目立っており、5等級の中でも良質な枝肉は高値になるものの、品質の落ちるものや、歩留まりの悪いものは安くなり、価格差が顕著になっています。
交雑牛	当市場への出荷者も和牛への切り替えが進み、頭数が減少していますが、引き合いは強く、2～3等級を中心に高値で推移しており、この傾向は年末も継続すると予想されます。
乳牛	年末に向け、販売が和牛や交雑牛で占めるため、頭数も減少し価格も下げ傾向になると考えられます。

【豚肉の概要】

入荷に関しては、市場が年末年始の休みに入ることから、前倒しで出荷するために増加するものと思われます。価格は前年同様10月以降に安定してきましたが、年末に向けて一時的に高くなることもあるでしょう。